

# 2018（平成30）年度 事業計画書

2018年4月1日～2019年3月31日

I	2018年度事業計画 事業の体系図	.....	1
II	2018年度事業計画一覧	.....	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

本部



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 2018(平成30)年度事業計画一覧

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
<b>公1 絵本美術館の設置運営</b>					
<b>ア 絵本等に関する展覧会・講演会の開催</b>					
ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【いわさきちひろの特別企画展】	いわさきちひろ生誕100年「Life展」 まなざしのゆくえ 大巻伸嗣	「物質と空間・存在」をテーマに制作活動を続ける、現代美術作家の大巻伸嗣が、ちひろ美術館・東京の空間全体を使って、いわさきちひろの絵の世界を旅するような体験をうみだす展覧会。本展にあわせて制作された大巻伸嗣のEchoes-Crystallizationシリーズの最新作も加え、今までにない新たな視点から「生きる力」を喚起する。	3月1日～5月12日	ちひろ美術館・東京
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」 着るをたのしむ spoken words project	いわさきちひろは、おしゃれ心を大切にされた女性だった。spoken words project (スポークンワーズプロジェクト)は、ちひろのセンスに着目し、その作品イメージから新たな作品としての生地や服をつくる。巧みな線や水彩の技術、強くなやかな女性としての生き方等の視点を加え、ちひろの世界観が、現代のファッションとして蘇る。	5月19日～7月22日	ちひろ美術館・東京
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」 あそぶ plaplax	子どもはあそびながら、さまざまな体験をし、体全体で世界を知覚していく。plaplax(プラブラックス)は、いわさきちひろが描いた子どもたちの絵とともに、「あそぶ」をテーマに参加型の作品を創作。絵のなかに入ってあそぶ映像や、絵をみるための遊具を通し、ちひろの世界を体感する。	7月28日～10月28日	ちひろ美術館・東京
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」 作家で、母で つくる そだてる 長島有里枝	家族にまつわる記憶や関係性を手がかりに、自身のライフヒストリーや社会の陰に隠れてきた女性の創造性に光をあてる作品を制作してきた長島有里枝。その視点は画家であり母であったいわさきちひろの作品と響きあう。女性に課せられる規範と折り合いをつけながら表現を行う女性アーティストとして、ふたりの生き方が交差する。	11月3日～2019年1月31日	ちひろ美術館・東京
	【講演会】	いわさきちひろ生誕100年「Life展」 まなざしのゆくえ 大巻伸嗣 アーティストトーク	アーティスト大巻伸嗣が、自身が取り組んだ展覧会を通して感じたいわさきちひろのLifeについて語る。	4月21日	ちひろ美術館・東京
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」 あそぶ plaplax 関連講演会	いわさきちひろの生誕100年と展覧会の主旨について、出展アーティストが語る講演会を開催する。	会期中	ちひろ美術館・東京
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」 作家で、母で つくる そだてる 長島有里枝 鼎談	アーティスト長島有里枝とほかの女性アーティストたちによる鼎談。女性として芸術家としての立場からいわさきちひろについて語る。	会期中	ちひろ美術館・東京
	【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。	4月1日、6月10日、9月2日、11月18日	ちひろ美術館・東京
		夏休み子どもギャラリートーク	夏休み期間中、小・中学生を対象としたギャラリートークを行う。	8月13日、20日	ちひろ美術館・東京
		展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第1、3土曜日	ちひろ美術館・東京
安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【いわさきちひろの特別企画展】	いわさきちひろ生誕100年「Life展」 あそぶ plaplax	子どもはあそびながら、さまざまな体験をし、体全体で世界を知覚していく。plaplax(プラブラックス)は、いわさきちひろが描いた子どもたちの絵とともに、「あそぶ」をテーマに参加型の作品を創作。絵のなかに入ってあそぶ映像や、絵をみるための遊具を通し、ちひろの世界を体感する。会期中は、地域・学校と連携し、展覧会鑑賞をサポートするボランティア活動を受け入れる。	3月1日～5月7日	安曇野ちひろ美術館
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」 ひろしま 石内都	1945年8月6日に原爆で被爆した人たちの広島平和資料館に収蔵される遺品の中から、直接肌身に触れたものを中心に選び、撮影し続けている石内都。一方、いわさきちひろは広島で被爆した子どもたちの作文に絵をつけた『わたしがちいさかったときに』を描いた。ふたりの女性芸術家がとらえた「ひろしま」を起点とした作品が共鳴する。	5月12日～7月16日	安曇野ちひろ美術館
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」 子どものへや トラフ建築設計事務所	いわさきちひろは子どもの居場所をどう描いたか。トラフ建築設計事務所は、そのことを観察する過程で、ちひろが好んで描いたモチーフである「帽子」に着目。「帽子」を子どもが安心できる空間ととらえ、巨大化することで「子どものへや」をつくる。ここでワークショップを開催し、さまざまな体験ができる場とする。	7月21日～9月25日	安曇野ちひろ美術館
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」 みんないきてる 谷川俊太郎	谷川俊太郎が、これまでに創作した膨大な詩には森羅万象が含まれ、無限の広がりが感じられる。一方で、いわさきちひろの絵には身近にある小さないのちの愛しさ、尊さが謳われている。異なる個性をもつ谷川の詩とちひろの絵を組み合わせ、あらゆるものに息づくいのち、たえず変化していく宇宙に耳をかたむける。	9月29日～12月16日	安曇野ちひろ美術館
	【ちひろ展】	ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像に、新たにちひろの技法を拡大して見られるタッチパネル等を加え、ちひろの絵と人間像を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
		子どもの展示室「トットちゃん部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部再現、7つの穴をのぞいて楽しむ「のぞき箱」の他、日々自由に参加できるワークショップなど、トットちゃんの世界を通じて子どもたちの目線で楽しむことのできるプログラムや展示を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【企画展】	<企画展>奇喜怪快 井上洋介の絵本展	絵本、漫画、イラストレーションなど、多彩な分野で活躍した画家・井上洋介。本展では、初の絵本『おだんごばん』(1960年)から、ロングセラーとなった『くまの子ウーフ』、1970年代から展開した自作絵本など、絵本の仕事を中心に、タブローや漫画などの作品も展示する。鬼気迫る圧倒的な描写に、ナンセンスやユーモラスな表現を融合させた独自の表現世界を紹介する。	7月21日～9月25日	安曇野ちひろ美術館
	【世界の絵本画家コレクション展】	ちひろ美術館コレクション展 子ども	ちひろ美術館コレクションから、あそびを中心に「子ども」をテーマにした作品を展示する。それぞれの地域や国、文化が異なるなかでも、あそびに興じる子どもの姿は世界共通のもの。友だちや家族とのあそびを通じて、成長していく子どもの姿を紹介する。	3月1日～5月7日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション展 いのち	ちひろ美術館コレクションから、「いのち」をテーマにした作品を展示する。絵本のなかには、人や動物はもちろん虫や草花など、さまざまな生きとし生けるものたちが登場する。いのちや自然に対する尊厳が感じられる、生命力にあふれた作品の数々を紹介する。	5月12日～7月16日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション展 暮らし	ちひろ美術館コレクションから、世界の人びとの「暮らし」をテーマにした作品を展示する。国や地域、文化や伝統などを背景にして、人は家族や社会など、さまざまな関わりの中で日々の営みを送っている。世界の多様な暮らしが見える作品の数々を紹介する。	7月21日～9月25日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション展 人生	絵本には、あかちゃんから老人までが登場し、人生のさまざまな場面が描かれている。ときに寓話や動物の姿をかりて人生の悲喜こもごもを表現した絵本も見られ、また、作品のなかには画家自身の姿や人生が投影されたものもある。本展では「人生」をテーマに、コレクション作品を展示する。あわせて、谷川俊太郎がことばや翻訳を手がけた絵本作品を紹介するコーナーも設ける。	9月29日～12月16日	安曇野ちひろ美術館
		【絵本の歴史展】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分け、紹介する。	通年
	【講演会】	いわさきちひろ生誕100年「Life展」ひろしま 石内都アーティストトーク	写真家・石内都が、自身が取り組んだ展覧会を通して感じたいわさきちひろのLifeについて語る。	5月12日	安曇野ちひろ美術館
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」ひろしま 石内都 関連講演会	写真家・石内都による、「ひろしま」をテーマにした講演会を開催する。	会期中	安曇野ちひろ美術館
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」ひろしま 石内都 関連上映会	ドキュメンタリー映画「ひろしま 石内都・遺されたものたち」上映会を開催する。	6月9日、10日	安曇野ちひろ美術館
		いわさきちひろ生誕100年「Life展」子どものへや トラフ建築設計事務所アーティストトーク	トラフ建築設計事務所の鈴野浩一が、いわさきちひろや安曇野ちひろ美術館の魅力、展覧会にあわせて制作した「子どものへや」「空気の器」などについて語る。	会期中	安曇野ちひろ美術館
		<企画展>奇喜怪快 井上洋介の絵本展 関連 谷川晃一講演会	井上洋介と親交のあった画家・谷川晃一が、井上の画業やその魅力を語る。	9月2日	安曇野ちひろ美術館
	【ギャラリートーク】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館
		いわさきちひろ生誕100年「Life」あそび展 plaplax ギャラリートーク	展示担当者や普及担当者によるギャラリートークを、未就学児向け、小学生向け、親子向けなど対象別に設定して行う。	3月10日、3月11日、3月17日	安曇野ちひろ美術館
	他館と提携する展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【展覧会】	生誕100年 いわさきちひろ、絵描きです。	生誕100年を記念し、ちひろを改めて「絵描き」として捉える展覧会を開催する。新出の資料も交えて生涯を辿りながら作品を分析し、今の時代の中で改めてその魅力を探るとともに、童画家としてのちひろのイメージの刷新に挑む。	7月14日～9月9日 11月16日～12月25日
ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展			ピエゾグラフによる複製画展を、開催希望自治体、団体、施設と協力をして行う。合わせてギャラリートークや講演会、水彩技法ワークショップなども実施する。	通年 9月21日～12月24日	「ちひろの生まれた家」記念館(福井県越前市) 越前市武生公会堂記念館
【ギャラリートーク等】		展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク等	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説するギャラリートーク、いわさきちひろの水彩技法体験ワークショップ等を開催する。	春・夏・秋の3会期	黒姫童話館
				12月1日～12月25日(予定)	信濃毎日新聞松本本社新社屋ホール
随時					

#### イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに、調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
作品・資料の保存	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持つ、魅力的な絵本の収集を進める。	通年	両館
	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品整理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブス	いわさきちひろの作品と世界の絵本画家の作品のデジタル・アーカイブスを進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	いわさきちひろ生誕100年の大規模記念展、ならびに、館内での展覧会にむけ、いわさきちひろ研究をさらに深め、ちひろに影響を与えた画家、その他関係する画家についても研究を進める。両館で開催する展示、ならびに他館と提携して行う展覧会において、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。	通年	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	両館で開催する展覧会ならびに、他館と協力して行う絵本の歴史展等に向けて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について調査・研究を進め、魅力的な絵本の要素を研究する。	通年	両館
	研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、図録等を通じて公開する。また、それら図録等は、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈し、研究の一助としてもらう。	通年	両館
	研究成果の公開 HPでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、HPIにアップロードし、国内外にむけて発信していく。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、年4回発行する「美術館だより」やHPを通じて、公開していく。	通年	両館

#### ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	いわさきちひろ生誕100年記念 講演会	いわさきちひろの生誕100年を記念し、「ちひろの作品と人生から、今、私たちが学ぶこと」をテーマとした講演会を開催し、講演録にまとめる。	夏	両館
	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	8月2～4日、2019年1月2～3日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する(講師:服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)。	4月21日、6月30日、9月29日、12月1日	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんのための鑑賞会	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、あかちゃんのための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。	年2回	ちひろ美術館・東京
	子どものための鑑賞会	3歳児～小学1年生とその保護者を対象にした、幼児～児童のための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。	年2回	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座 親業講演会「—今日から実践できる— 子どもに気持ちが伝わる話し方」	親業訓練を通して、親子のよりよいコミュニケーションを学ぶ(講師:田中満智子・親業訓練協会インストラクター)。	10月	ちひろ美術館・東京
	ワークショップ いわさきちひろ生誕100年「Life展」着るをたのしむ spoken words project	ファッションブランドspoken words projectが、展覧会に関連し、服を手づくりするワークショップを行う。	会期中	ちひろ美術館・東京
	ワークショップ いわさきちひろ生誕100年「Life展」あそび plaplax	展覧会に関連し、アートユニットplaplaxが、ピアニスト高見澤淳子とともに、水彩のにじみを音に表現し、その音にあわせて身体表現につなげるワークショップを行う。	4月14日 会期中	安曇野ちひろ美術館 ちひろ美術館・東京
	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	8月1日～16日、8月25日	安曇野ちひろ美術館
	あかちゃんのための鑑賞会	「ベビーカーでお出かけしよう!」と題して、ファーストミュージアムデーに乳幼児とその保護者を対象に、子どもと一緒に、展示を中心に館内各所で鑑賞会を開催し、絵本の読み合いやふれあい遊びも行う。	10月12日、11月10日	安曇野ちひろ美術館
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	松川中学校と連携し、夏休み期間中、中学生ボランティアを育成し、来館者を対象にした、当館での体験ワークショップ、ガイドツアー、絵本の読み聞かせ等の活動を行なう。	8月1日～16日	安曇野ちひろ美術館
	出前授業	いわさきちひろやちひろの技法について、学校等に出向いて出前授業を企画、実施する。	随時	両館
	来館団体への各種教育プログラム	授業や修学旅行などで来館した学校等を対象に、ちひろの水彩技法ワークショップや美術館探検、読み聞かせなどを組み合わせたプログラムを行なう。	随時	両館
	スクールミュージアム	長野県内の希望校を対象に、展覧会の作り方を指導、複製画等の貸し出しを行い、生徒の力で展覧会が開催できるよう生徒キュレーター育成を行う。	随時	安曇野ちひろ美術館
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習の受入れ	練馬区近辺、松川村近辺の中学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務を体験してもらい、博学連携の活動とする。	随時	両館
	学芸員実習、インターンシップ生の受入	学芸員実習希望者の受入と、大学などからのインターンシップ生の受入を行う。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
<b>エ 絵本等に関する普及活動</b>				
絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、HP等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしの中で身近に絵本が楽しめるよう支援していく。	通年	両館
読み聞かせ会	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
	平和の絵本のおはなし会	「ひろしま 石内都展」に関連して、松川中学校の図書委員とともに平和をテーマにした絵本の読み聞かせを行う。	7月7日	安曇野ちひろ美術館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展等の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』関連活動	安曇野ちひろ公園トットちゃん広場と安曇野ちひろ美術館館内において、ちひろの絵が数多く掲載されている『窓ぎわのトットちゃん』の様々なエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の方々や地元の学校の協力を得て、開催する。	随時	安曇野ちひろ公園・安曇野ちひろ美術館
	平和のパネル展を希望する施設・団体・学校等で掲示	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの実施	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、各病院からの求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。	随時	東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合産科母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター内子どもホスピス「もみじの家」、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
<b>オ 絵本等に関する国際交流</b>				
海外における展覧会・講演会、ワークショップ等	いわさきちひろ展「童・楽 - 岩崎知弘經典挿畫展」	いわさきちひろの作品100点を6部構成で紹介する、アジアで初めての大規模な原画展を開催する。いわさきちひろの画業とともに、ちひろの子どもの幸せと平和への願いを、作品・資料や、ちひろ自身のことばなどを通して紹介する。	2月1日～4月22日	台湾台北市・国立歴史博物館
	韓国 Gun-po市におけるいわさきちひろ展と普及	Gun-po市に新設された市立絵本図書ギャラリーで、いわさきちひろのピエゾグラフィック作品を展示し、ちひろの世界を紹介するとともに、韓国日本の絵本文化シンポジウムに参加し、交流を行う。	5月	韓国Gun-po市・市立絵本図書ギャラリー
	中国 上海におけるちひろのピエゾグラフィック展と普及	上海の国際児童ブックフェア等にあわせ、いわさきちひろのピエゾグラフィック作品を展示し、ちひろの世界を紹介する。	11月	中国・上海市
	インドネシアにおけるいわさきちひろの普及	インドネシアの絵本関係団体と提携し、いわさきちひろや日本の絵本の普及を行う。	秋	インドネシア
	シンガポールAFCCを通じての日本の絵本の普及	シンガポールで開催されるアジア子どものコンテンツフェスティバルに参加し、日本の絵本文化の発信を行う。	秋	シンガポール
	ポーランドにおける日本の絵本展開催への準備	2019年に開催を希望されているポーランドでの日本の絵本展実現にむけて交渉準備を行う。	随時	両館
海外からの研修や来館者受入と交流	韓国の絵本関係者の研修・交流	韓国の絵本画家や編集者など絵本関係者を対象に美術館の研修を行い、あわせて地元の子どもたちと交流を行い、相互理解、絵本文化の普及を促進する。	春	両館
	アジアや世界の絵本関係者の視察・調査等の受入	世界初の絵本美術館として、アジアや世界の絵本や図書館、美術館関係者に当館の展示や保存技術、運営や理念等を紹介するために、視察に対応する。	随時	両館
	館内情報の多言語化やバリアフリー化	さまざまな国やニーズをもった来館者に対応すべく、館や展示の紹介等をバリアフリー化していく。	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動	絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY (International Board on Books for Young People)や、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会、全国絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、絵本文化の発展のための相互協力に努める。	随時	両館
	絵本美術館ネットワーク設立のための情報収集	国を超えた絵本美術館ネットワークを構築するために、調査を行い、情報交換を行っていく。	随時	両館
	海外の図書館等へちひろや日本の絵本画家の絵本の普及	海外の国際交流基金や公立図書館等に、ちひろや日本の絵本画家の絵本を紹介し、普及に努める。	随時	両館
<b>カ 絵本等に関する支援活動</b>				
絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ等への支援	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に絵本の紹介や、読み聞かせの方法等についてアドバイスを行う等、支援をしていく。	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の子育て支援団体やお母さん方のグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館

収1

その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館
-------------------------	---------------	--	----	----